

集落支援員だより

第23号

発行者 東和地域集落支援員

連絡先 66-2490

発行日 令和4年1月26日(水)



一年の計は元旦にあり



初詣に訪れた参拝者

す。不安が先立ち、おのずと行動も制限されてしまい、気持ちもなえてしまうような前年だったかと思えます。人間「苦しい時の神頼み」とはよく言ったもので、今年こそ皆が神様に同じお願い(悪病退散をし、その願いが通じて皆が今年一年晴れやかな気持ちで過ごされることを願ってやみません。

地域ので建て直し

戸沢地区にある上梨子稲荷神社の鳥居は、木材で建てられていたため、長年の風雪に耐えてはきたが、老朽化が進み、倒伏寸前であったようです。そのため、氏子の方々の「物言わぬものを大切に」の心情により、鳥居の建て替えとなったようです。

稲荷神社の氏子は九戸で、7月のご祈禱祭や10月の祭祀などは滞りなく催されており、氏子の心の拠り所として神代の昔から崇め奉られてきました。

エキスパート集結

また集落内には様々な職種のエキスパートがいるため、鳥居建て替え工事では、何の問題もなく建て替

うるおいの恩恵

戸沢十二区東の柏久保地内に、こんこんと湧き出ている清らかな湧き水があります。牧野一彦さんは15年ほど前、山から生活用水を引いたときに、その余り水で水場を作ったといふことです。今では方々から水を汲みに来る人もおり、人気の湧き水となっています。

えが進められ、氏子の方々は手弁当で完成にこぎつけたというところで。今回の稲荷神社の鳥居建て替えは、地域の結束を強めるとともに、後世に残る仕事として語り継がれることでしょう。



新調された朱色の鳥居

価値ある水資源



恵みの湧き水

10年ほど前の東日本大震災のときからは少し水量も減ってはきたが、水質には変化もなく、車で通る人や近所の人も農作業の合間に利用するという。いま、自然環境が見直され、水文化も考える時代。これからも柏久保の貴重な湧き水を守ってほしいものです。

「集落支援員だより」は、東和地域の情報や地域活動等をお届けしています。どんな小さな活動でも取材に伺いますので、載せたい情報がありましたら、集落支援員までご連絡ください。東和支所地域振興課(集落支援員) 問い合わせ先: 66-2490(直通)

制限された日々
しかし、ここ数年コロナ禍に振り回され、今年こそ普段の生活に戻り、日常を取り戻すことができればとお参りをした方も多いと思われま

山々の木々はうっすらと雪化粧をし、新たな装いを醸し出し、2022年の新春に皆様方においては、晴れやかな気持ちで新しい年を迎えられたことと思います。多くの方々は松飾りをして新年を迎え、気持ちも新たに近所の鎮守の森へと足を運び、神殿に願い事をするということが、日本人の慣例ではないでしょうか。